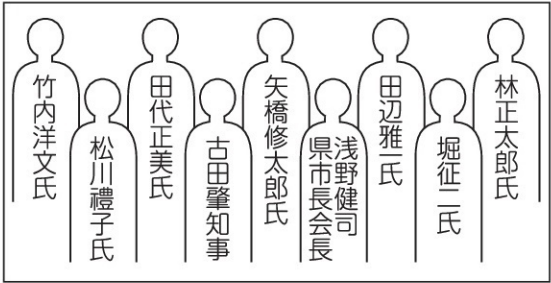




トロフィーを手にする第70回岐阜新聞大賞の受賞者の皆さん。8日午前10時35分、岐阜市橋本町、岐阜放送テレビスタジオ



郷土発展に足跡

6氏1団体に岐阜新聞大賞

「第70回岐阜新聞大賞」の贈呈式が8日、岐阜市橋本町の岐阜放送であり、学術文化、産業、伝統継承の分野で郷土の発展に寄与した6氏、1団体に賞が贈られた。【関連記事22面に】

受賞者は、学術部門の松川禮子氏、岐阜大名誉教授、岐阜女子大学長、前県教育長、竹内洋文氏、岐阜薬科大名誉教授、文化部門の林正太郎氏、陶芸家、田辺雅一氏、グラフィックデザイナー、産業部門の矢橋修太郎氏、矢橋大

理石社長、田代正美氏、バローホールディングス会長兼社長、伝統継承部門の主力雄神社火祭奉賛会（堀征二会長）。

贈呈式には、古田肇知事、浅野健司県市長会長（各務原市長）らが出席。矢島薫岐阜新聞社長から各受賞者に、県出身で世界的なガラス工芸作家各務鑑三氏による力ガミクリスタル社制作のトロフィーなどが贈られた。

岐阜新聞大賞は1950年創設。県内の各分野の発展に貢献した個人、企業、団体をたたえ、受賞者は532人、3企業、23団体となった。